

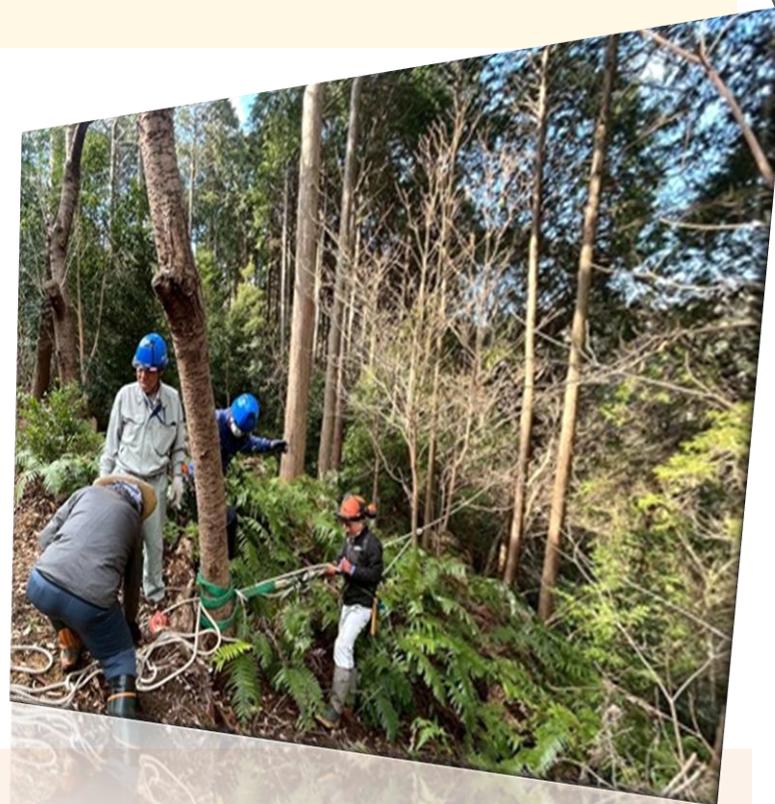
里山整備 岡田 和久

今回も炭焼き小屋に向かう管理車道沿いのヒノキを間伐し、道普請用の用材を集めました。

大きなチェーンソーを持って伐採を担当するのは80歳を超えるA氏。私の膝の具合があまりよくないので急斜面を下って太いヒノキと格闘してくれました。

伐採するヒノキにはロープを結び付け、それを管理車道から林内作業車で引っ張って倒します。90年を超える太いヒノキですから、太い枝もたくさん付いており、倒してからもその枝の処理が一苦勞です。チェーンソーで持ち運びができる程度の長さに切断し、みんなで協力して枝を処理していきます。

そして、幹だけになったヒノキは3等分にして5mほどの長さに切断し、これを林内作業車で引き上げます。いくら力の強い林内作業車といっても太さが40cmを超える大木となるとそう簡単には上がってきません。いろいろ工夫しながらなんとか車道まで引き上げました。こうして、全部で3本のヒノキを伐採して9本の道普請用用材を確保し、森広場に運んでこの日の作業は終了しました。



ロゴソール(製材) 楠 正暢



先月まででウッドデッキの床板材は一区切りということで、今回は手すりや柵を作るための材木を切り出しました。今までより若干厚めの5cmで引きました。チェーンソーがギリギリ届くぐらいの太めの丸太を、午前中に一本、午後にもう一本、縦引きしました。チェーンソーも事前にしっかり手入れをしていただいているようで、エンジンが温まった後は快調に作業を進めることができ、合計8枚切り出せました。作業中、ふと頭をよぎりました。普通のチェーンソーの使い方ではあり得ない向きと高さでハンドルを握り、フルスロットルで爆音を立てながら前に進む姿、「こりゃあ暴走族だわ」…と。ただ、蛇行運転せず、群れずに、山の中で誰の迷惑にもならず、むしろ人のため、ゆっくり、まっすぐ、青いメットを深くかぶり、超安全運転をする…。そんな模範的なおっさんライダーを妄想し、ひとり心の中でむっつりニヤケル私でした😁。



くるみ割り 戸上 佳代子

2/23 に行われる餅つきの準備として、クルミ割りとお実の取り出し作業を女性 6 人で行いました。今年は炒り具合が良く、例年に比べると大変取り出しやすかったようです。少し開いた隙間に鉗を入れて半分に割り、リッパー（裁縫の道具）を使って実を取り出しました。「大変やなあ」と応援？の言葉を頂きながら黙々と作業を続け、食缶いっぱいのお実をなんとか片付けることができました。本番でのお餅の出来具合が楽しみです。



味噌汁 森 留津

2 月度の活動日、今回はみそ汁作り班に参加しました。メンバーは大ベテランの K さん、M さんのお二方と私の三人でした。

三人とはいえ、みそ汁作りは慣れたものです。手分けをして材料を切り、滞りなく進みました。味噌の量を決める時にいつも M さんが「濃さが決まらなくて…」と仰るのですが、何のなんの、今回もバッチリの仕上がりでしたよ～。

この冬のみそ汁作りは今回が最後になります。

この冬、みそ汁作りに加わってくださった皆様、物価の高騰に頭を悩ませながら毎回お買い物してきて下さる M さん、色々なお野菜を持ってきて下さった皆様、本当にありがとうございました。



事務局から

「春告げ桜」

2 月 24 日、炭材伐採の帰り道、公園広場から北の斜面を望むと淡いピンクの花が咲いているのを見つけました。エドヒガンです。これは、平成 22 年に高野山の森の中にあるエドヒガンの種子を採って育て、1m ほどになった苗木を平成 24 年に植栽した 6 本の中の 1 本です。他のエドヒガンは 3 月中旬にしか咲かないのに、この木だけは毎年早く花を咲かせて私たちを驚かせてくれます。成長が早い割には花を咲かせるのが遅いエドヒガンですが、千年を超える長寿で有名な巨木があちこちにあります。ここは良く目立つ場所なのでやがて大木に育って公園のシンボルになってくれそうです。まだ冬枯れの山肌にそこだけほんのり温かみを灯すように咲くエドヒガン。春はもうすぐだよと告げているようです。 （岡田 和久）